

編 集 後 記

私はこれまで主に脳卒中、自律神経、頭痛について臨床および研究を行ってきた。脳卒中領域では、臨床から得たヒントを基に動物における脳虚血の実験を行い、その病態生理の解明及びその知見に基づく治療法の開発などを手掛けてきた。しかし、動物実験で有効であった脳虚血に対する新薬は、ヒトではほとんどがその有効性を見いだせなかった。ヒトの脳と動物の脳との違いを痛感したものである。

一方、自律神経、頭痛の分野の研究は、ほとんどが患者さんの同意のもとで行われた臨床研究である。例えば片頭痛における CGRP の関与に関する研究などが挙げられるが、これは新たな治療法の開発につながっている。ヒトにおける研究は、直接患者さんの治療に直結することが多いと感じている。しかしながら近年施行された臨床研究法のため、今後我が国の臨床研究がかなり厳しい制約のもとに

行われざるを得ない状況となることが予想され、臨床研究の衰退が危惧される。

編集委員に就任して以来、臨床神経学に投稿された素晴らしい論文の数々を査読する機会をいただいている。その中で最近投稿された論文の中に、一例の症例報告ではあるが、十年以上に及ぶ詳細な臨床観察を基に新しい知見を紹介したものがあつた。数号後に掲載される予定である。臨床研究はたとえ一例であっても詳細に検討を続けることによって世界的に新しい知見が得られることが示されており、我々臨床医として学ぶべきことが多いと感じた。臨床神経学は、貴重な症例報告も数多く掲載される雑誌であるので、今後も神経学会会員の皆様におかれましては積極的に投稿されることを望みます。

(荒木 信夫)

〈 編 集 委 員 〉

編集委員長 園生 雅弘 編集副委員長 高尾 昌樹
 編集委員 荒木 信夫 飯塚 高浩 池田 昭夫 亀井 聡 古賀 政利
 鈴木 匡子 坪井 義夫 西野 一三 星野 晴彦
 編集委員(幹事兼任) 小野寺 理 新野 正明 三澤 園子

「臨床神経学」 第59巻 第7号 2019年7月1日発行
 編集者 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル 一般社団法人日本神経学会
 発行者 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル 戸田 達史
 印刷所 〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入 中西印刷株式会社

発行所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル
 日 本 神 經 学 会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>